

2020年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2019年11月11日

上場会社名 株式会社構造計画研究所 上場取引所 東
 コード番号 4748 URL <https://www.kke.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 服部 正太
 問合せ先責任者 (役職名) 専務執行役 (氏名) 荒木 秀朗 TEL 03-5342-1142
 四半期報告書提出予定日 2019年11月11日 配当支払開始予定日 2019年12月9日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年6月期第1四半期の業績 (2019年7月1日～2019年9月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第1四半期	2,546	45.6	55	—	31	—	17	—
2019年6月期第1四半期	1,748	6.0	△375	—	△354	—	△250	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年6月期第1四半期	3.36	—
2019年6月期第1四半期	△51.65	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第1四半期	12,810	—	5,330	—	—	41.6
2019年6月期	12,998	—	5,426	—	—	41.7

(参考) 自己資本 2020年6月期第1四半期 5,330百万円 2019年6月期 5,426百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年6月期	15.00	15.00	15.00	45.00	90.00
2020年6月期	20.00				
2020年6月期(予想)		—	—	—	100.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 2019年6月期期末配当金の内訳 普通配当 35円00銭 記念配当 10円00銭 (創立60周年記念配当)

※2020年6月期(予想)につきましては、合計で100円00銭としており、各四半期毎に配当を行うこととしておりますが、第2四半期以降の支払額については未定であり、決定次第ご報告いたします。

3. 2020年6月期の業績予想 (2019年7月1日～2020年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,700	6.1	1,500	20.8	1,470	17.9	1,000	46.5	188.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年6月期1Q	5,500,000株	2019年6月期	5,500,000株
② 期末自己株式数	2020年6月期1Q	369,869株	2019年6月期	437,608株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年6月期1Q	5,106,371株	2019年6月期1Q	4,847,905株

（注）2018年ESOP信託及び2017年役員向け株式給付信託が保有する当社株式を自己株式に含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(持分法損益等)	8
3. 補足情報	9
生産、受注及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社はProfessional Design & Engineering Firmとして、工学知に裏付けられた高付加価値なサービスを提供しております。事業活動においては、収益の拡大と利益の確保、及び得られた利益を再投資に回すサイクルにより、企業として持続的に成長し続けることを重視しております。収益の拡大に関しては、既存事業において経験曲線効果を重視し、工学知の積み重ねと着実な付加価値向上を行っております。利益の確保に関しては、不採算プロジェクトを抑制するための組織的な品質確保、高付加価値サービスに見合う見積り価格の提示等に取り組んでおります。また、得られた利益を再投資に回し、社内新規事業開発テーマへの投資や、国内外を問わず最先端の技術を持つパートナーとの協業により、新しい事業の開発に努めております。さらに、人材の育成や働く環境の向上にも積極的に投資をしております。

当第1四半期累計期間の当社の経営成績は、売上高は25億46百万円（前年同四半期は17億48百万円）、営業利益は55百万円（前年同四半期は3億75百万円の損失）、経常利益は31百万円（前年同四半期は3億54百万円の損失）、四半期純利益は17百万円（前年同四半期は2億50百万円の損失）となりました。

受注残高につきましては、前年同四半期を上回る75億72百万円（前年同四半期は64億2百万円）を確保するとともに、その利益性に関しても向上しており、当事業年度末に向けた事業活動は順調に推移しております。

各報告セグメントに関しては、2. (3) 四半期財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）II 当第1四半期累計期間（自 2019年7月1日 至 2019年9月30日）もご参照ください。

当第1四半期累計期間の報告セグメント別の状況は、次のとおりであります。

(エンジニアリングコンサルティング)

当第1四半期累計期間においては、構造設計コンサルティング業務、住宅メーカー向けシステム開発業務、及び建設・製造業向けシステム開発業務が堅調に推移しました。利益率の高いこれらの業務において事業活動が拡大したため、売上及び利益につきましては順調な滑り出しとなっております。

この結果、エンジニアリングコンサルティング事業における当第1四半期累計期間の売上高は18億54百万円（前年同四半期は11億26百万円）、売上総利益は11億22百万円（前年同四半期は5億56百万円）となりました。また、受注残高につきましては、64億46百万円（前年同四半期は54億1百万円）となっております。

(プロダクツサービス)

当第1四半期累計期間においては、米国SendGrid, Inc. のクラウドベースメール配信サービスや米国LockState, Inc. の入退室管理クラウドサービスが順調に販売を拡大しました。また、設計者向けCAEソフト、粒子法流体解析ソフトの販売については、一部消費税増税の影響を受けつつ堅調に推移し、当セグメント全体としては着実に進捗しております。

この結果、プロダクツサービス事業における当第1四半期累計期間の売上高は6億91百万円（前年同四半期は6億22百万円）、売上総利益は2億48百万円（前年同四半期は2億33百万円）となりました。また、受注残高につきましては、11億26百万円（前年同四半期は10億0百万円）となっております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて2.1%減少し、41億9百万円となりました。これは、主に仕掛品が2億53百万円、その他流動資産が1億73百万円増加する一方、現金及び預金が5億26百万円減少したことによります。

固定資産は、前事業年度末に比べて1.2%減少し、87億1百万円となりました。これは、主に投資有価証券が66百万円減少したことによります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて1.4%減少し、128億10百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて16.2%増加し、42億24百万円となりました。これは、主に短期借入金が6億円、1年内返済予定の長期借入金が5億41百万円増加する一方、未払費用が6億53百万円減少したことによります。

固定負債は、前事業年度末に比べて17.3%減少し、32億55百万円となりました。これは、主に長期借入金が6億86百万円減少したことによります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて1.2%減少し、74億79百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べて1.8%減少し、53億30百万円となりました。これは、主に利益剰余金が2億23百万円、自己株式が1億55百万円減少したことによります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年6月期の業績予想につきましては、2019年8月8日に公表いたしました通期業績予想の数値から変更はございません。今後、通期業績予想の修正の必要が生じた場合には、東京証券取引所の適時開示規則に基づき、速やかにご報告させていただきます。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年6月30日)	当第1四半期会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,351,550	825,225
受取手形及び売掛金	1,415,523	1,349,454
半製品	85,498	73,157
仕掛品	702,261	955,885
前渡金	57,359	55,087
前払費用	508,257	601,609
その他	121,022	294,492
貸倒引当金	△45,956	△45,555
流動資産合計	4,195,516	4,109,356
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,675,149	1,656,533
土地	3,267,401	3,267,401
その他(純額)	111,053	106,866
有形固定資産合計	5,053,604	5,030,801
無形固定資産		
ソフトウェア	351,300	335,537
その他	88,618	80,958
無形固定資産合計	439,918	416,496
投資その他の資産		
投資有価証券	1,654,159	1,588,113
その他	1,659,333	1,669,772
貸倒引当金	△3,757	△3,757
投資その他の資産合計	3,309,735	3,254,129
固定資産合計	8,803,258	8,701,426
資産合計	12,998,775	12,810,783
負債の部		
流動負債		
買掛金	238,198	204,546
短期借入金	10,000	610,000
1年内返済予定の長期借入金	541,832	1,083,632
1年内償還予定の社債	100,000	100,000
未払金	406,033	373,840
未払費用	861,835	207,872
前受金	884,064	958,542
賞与引当金	-	247,156
役員賞与引当金	-	33,657
受注損失引当金	-	10,492
その他	594,648	394,377
流動負債合計	3,636,613	4,224,117

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年6月30日)	当第1四半期会計期間 (2019年9月30日)
固定負債		
長期借入金	1,386,471	699,838
社債	350,000	350,000
株式報酬引当金	63,477	68,743
退職給付引当金	2,004,634	2,013,090
役員退職慰労引当金	40,000	40,000
資産除去債務	56,028	56,152
その他	35,175	27,975
固定負債合計	3,935,787	3,255,799
負債合計	7,572,400	7,479,916
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,010,200	1,010,200
資本剰余金	1,159,926	1,159,926
利益剰余金	4,117,147	3,893,408
自己株式	△851,517	△695,866
株主資本合計	5,435,757	5,367,668
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△9,382	△36,801
評価・換算差額等合計	△9,382	△36,801
純資産合計	5,426,374	5,330,866
負債純資産合計	12,998,775	12,810,783

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自2018年7月1日 至2018年9月30日)	当第1四半期累計期間 (自2019年7月1日 至2019年9月30日)
売上高	1,748,784	2,546,170
売上原価	959,182	1,176,109
売上総利益	789,602	1,370,060
販売費及び一般管理費	1,164,964	1,314,808
営業利益又は営業損失(△)	△375,362	55,252
営業外収益		
受取利息	5	6
有価証券利息	780	686
投資有価証券運用益	27,665	-
その他	559	1,095
営業外収益合計	29,010	1,787
営業外費用		
支払利息	3,415	4,177
社債利息	-	551
投資有価証券運用損	-	17,434
その他	4,907	3,129
営業外費用合計	8,322	25,292
経常利益又は経常損失(△)	△354,674	31,747
特別損失		
固定資産除却損	153	-
特別損失合計	153	-
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△354,828	31,747
法人税、住民税及び事業税	1,426	2,033
法人税等調整額	△105,864	12,547
法人税等合計	△104,437	14,580
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△250,390	17,166

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自2018年7月1日至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期 損益計算書 計上額 (注2)
	エンジニアリング コンサルティング	プロダクツ サービス	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,126,547	622,237	1,748,784	—	1,748,784
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,126,547	622,237	1,748,784	—	1,748,784
セグメント利益	102,339	89,240	191,579	△566,942	△375,362

(注) 1. セグメント利益の調整額△566,942千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間(自2019年7月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期 損益計算書 計上額 (注2)
	エンジニアリング コンサルティング	プロダクツ サービス	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,854,628	691,541	2,546,170	—	2,546,170
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,854,628	691,541	2,546,170	—	2,546,170
セグメント利益	622,522	43,292	665,814	△610,562	55,252

(注) 1. セグメント利益の調整額△610,562千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(持分法損益等)

	前事業年度 (2019年6月30日)	当第1四半期会計期間 (2019年9月30日)
関連会社に対する投資の金額	286,545千円	286,545千円
持分法を適用した場合の投資の金額	267,773千円	244,668千円
	前第1四半期累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)
持分法を適用した場合の投資損失(△)の金額	△34,505千円	△23,104千円

3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当第1四半期累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
エンジニアリングコンサルティング	975,559	97.9
プロダクツサービス	443,682	109.7
合計	1,419,241	101.3

(注) 1. 金額は総製造費用より他勘定振替高を控除した金額によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 受注実績

当第1四半期累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
エンジニアリングコンサルティング	3,105,960	143.1	6,446,423	119.3
プロダクツサービス	735,294	131.4	1,126,443	112.5
合計	3,841,255	140.7	7,572,866	118.3

(注) 1. 金額は販売価額によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③ 販売実績

当第1四半期累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
エンジニアリングコンサルティング	1,854,628	164.6
プロダクツサービス	691,541	111.1
合計	2,546,170	145.6

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。